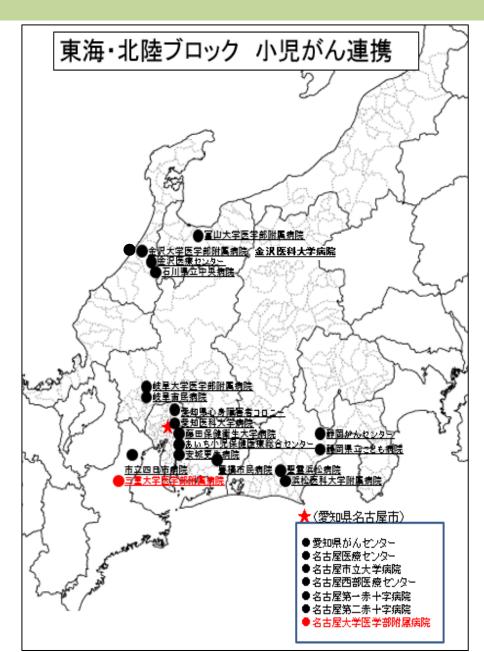
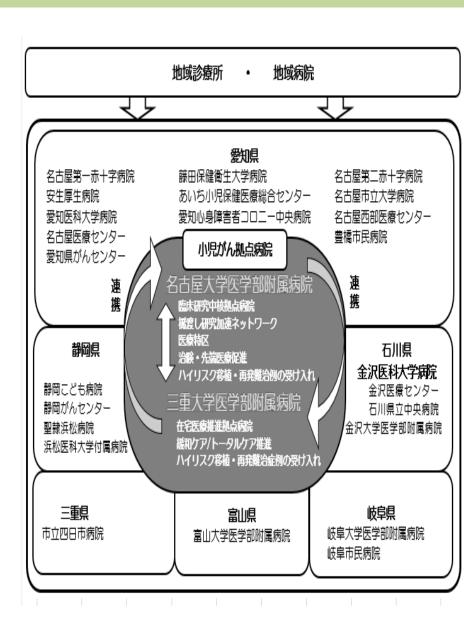
東海北陸ブロックの診療実績について

三重大学医学部附属病院 平山 雅浩

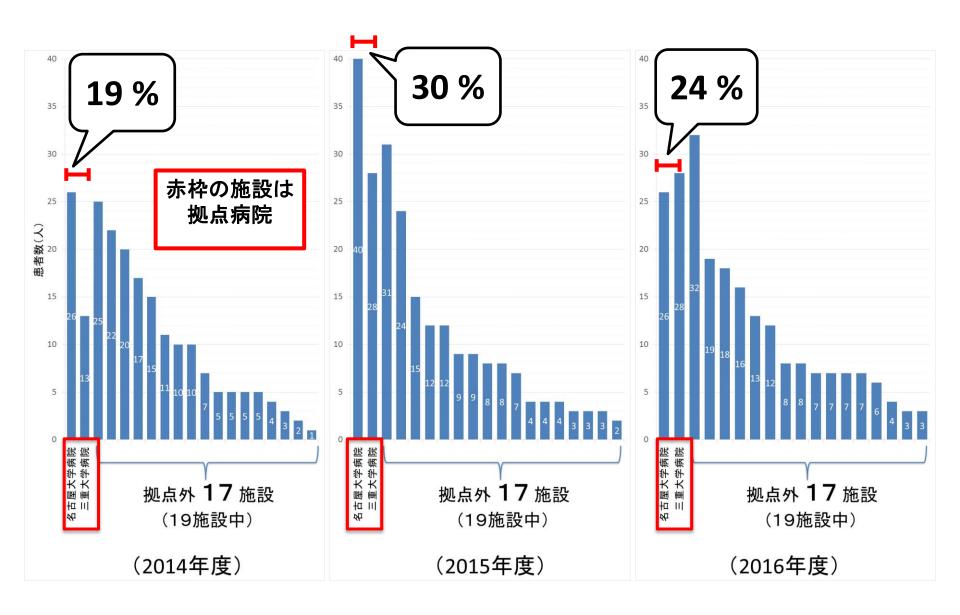
名古屋大学医学部附属病院 高橋 義行

東海北陸ブロック連携の概要

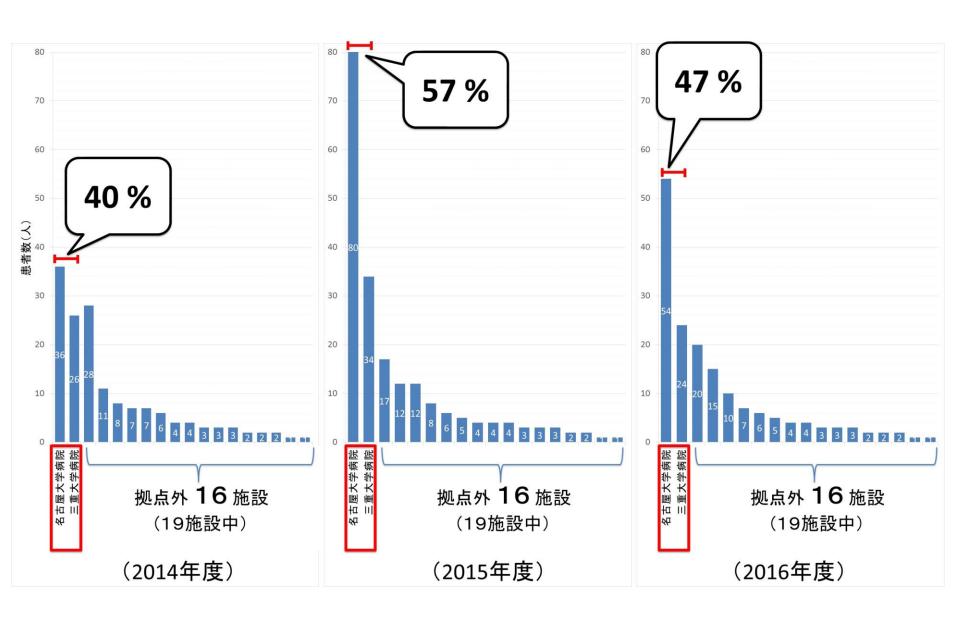




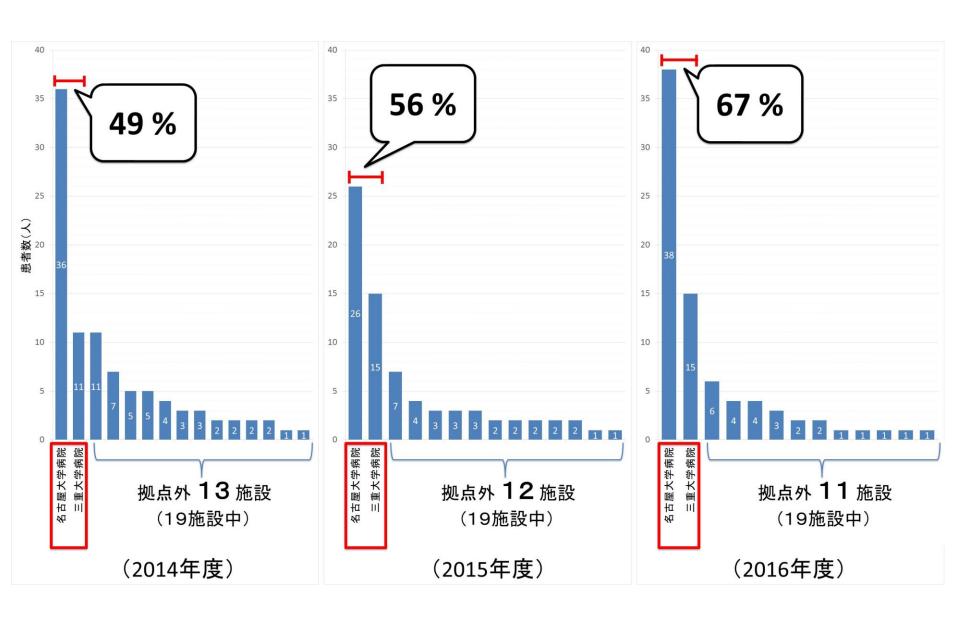
診療実績(造血器腫瘍)



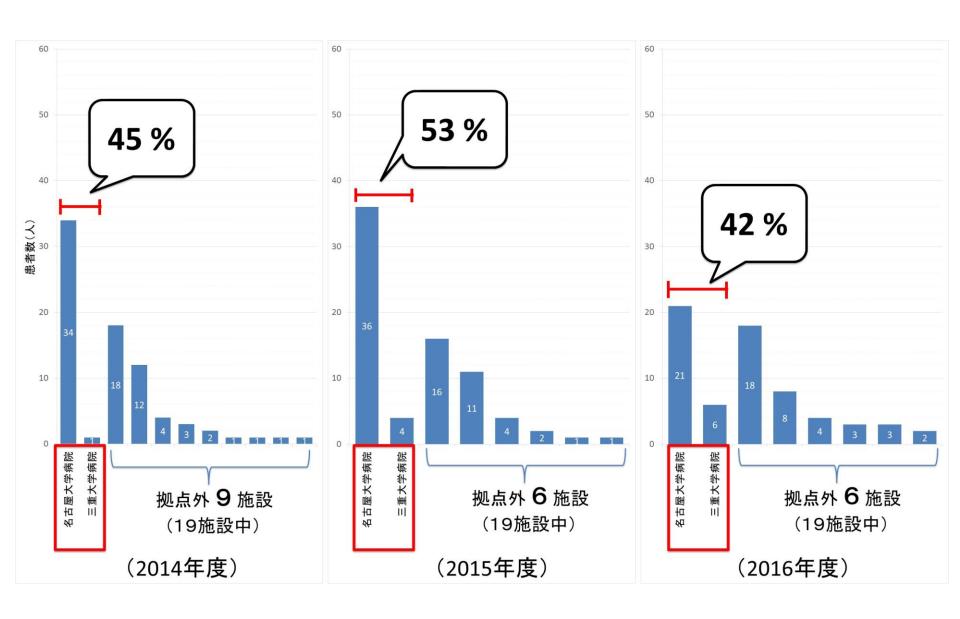
診療実績(固形腫瘍)



診療実績(脳脊髄腫瘍)

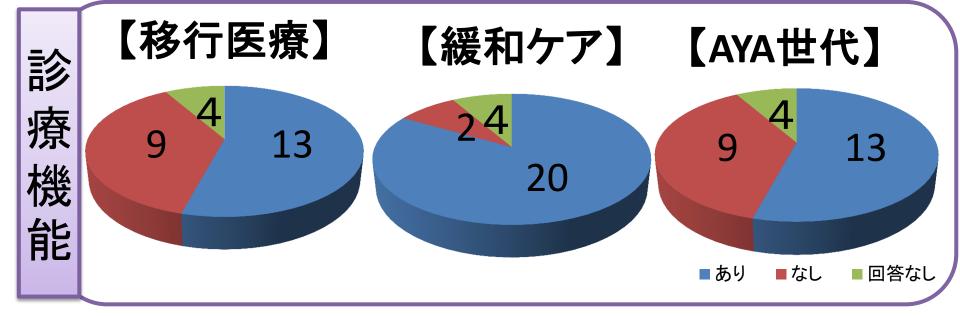


診療実績(同種造血細胞移植)









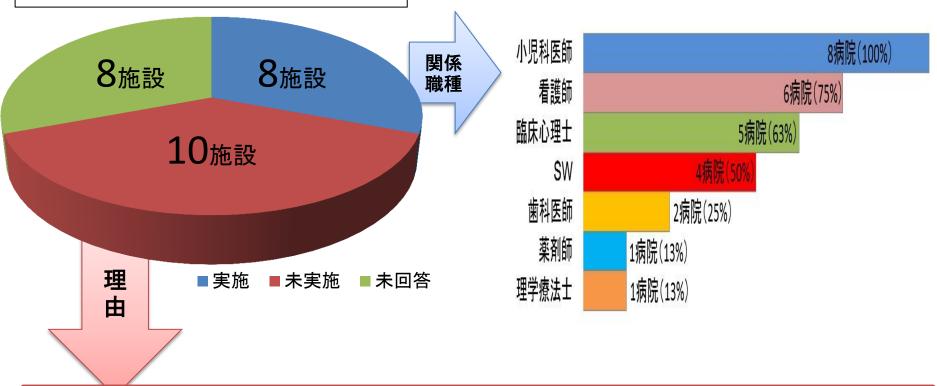
・26施設中22施設回答あり

・数は施設数を表す

(2016年度調査)

長期フォローアップ外来実施状況



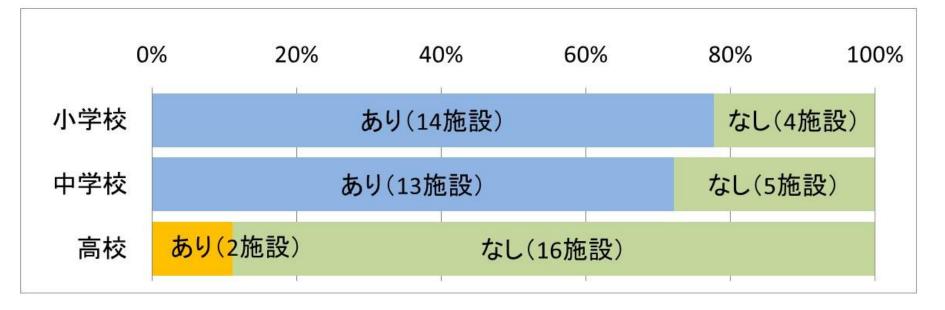


- ●通常の外来のフォローアップで十分(6施設) ●人材不足(医師)で開設できない
- (1施設) ●外来を増やすことが出来ない(1施設) ●その他(2施設)

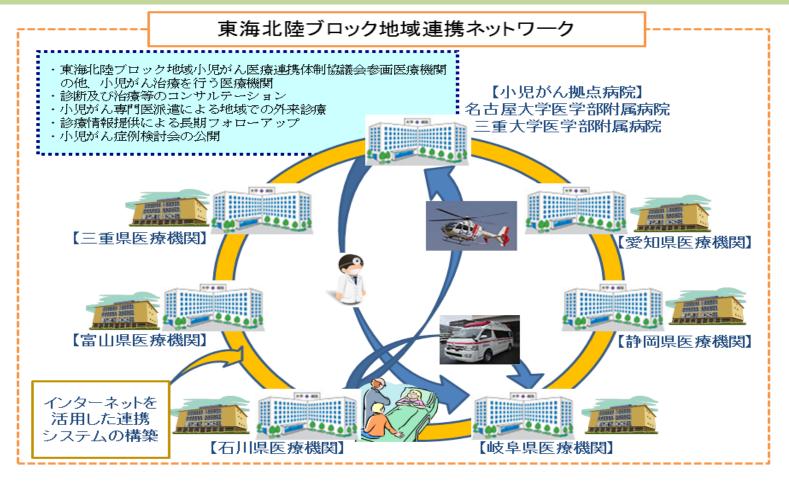
教育提供体制

回答分(26施設中18施設回答あり)

	特別支援学校				普通学級		高等学校	なし
	本校	分校	分教室	訪問	分校	特別支援 教室	訪問	なし
小学校	1	0	2	3	5	3	0	4
中学校	1	0	2	5	2	3	0	5
高校	0	0	0	0	0	0	2	16



ブロック地域連携(1)



くテレビ会議システムの導入>

名古屋大学医学部附属病院及び岐阜大学病院、北陸ブロックの金沢大学、金沢医科大学、富山大学と接続テストが成功した。今年度中に、東海と北陸地区をつないだ症例検討会、小児がんセミナーを計画。

東海北陸ブロック

ブロック地域連携(2)

多職種研修会

カンファレンスルーム3B

tel:076-231-1160

石川県金沢市広岡 3-1-25 YS ビル

₹920-0031

相談支援部会

第1回

東海北陸ブロック小児がん診療病院相談支援部会

日 程:平成29年10月29日(日) 13:00~16:30 開催場所:名古屋大学医学部附属病院 会議室

- 13:00~13:05 (5分) 開会の挨拶
- 2 13:05~14:05 (60分) 小児がん医療体制の整備について

小児がん拠点病院と中央機関の役割など …成育医療センター松本公一先生

相談支援に求められるもの、部会立ち上げの経緯、各ブロックの動きなど …成音医療センター鈴木彩 MSW

3 14:05~14:20 (15分) 相談支援部会の運営について (三重大学医学部病院) メーリングリスト作成の軽線、目的、今後の会の運営方法など

14:20~14:35 (15分) 休憩

- 4 14:35~15:45 (70分) <u>各施設の現状報告、発表</u> 自己紹介、相談状況、困っていることなど
- 5 15:45~16:15 (30分) 長期フォローアップについて (三重大学医学部附属病院)
- 6 16:15~16:25 (10分) 質疑応答
- 7 16:25~16:30 (5分) <u>閉会の挨拶</u>
 - <u>● アンケート記載</u>

相談支援部会への要望や、今後部会に取り入れたい内容 (例:研修会) など

参加費無料 東海北陸プロック小児がん拠点病院事業 小児がん診療体制における東海北陸ブロック 多職種連携研修会 in 金沢(石川県・富山県) 2016年 プログラム 10:00 開会の辞 本邦における小児がん拠点病院と ブロック活動の意義 10:00 (受付9:30) 平山 雅浩 三國大学大学院医学系研究科 小児科学分野 和授 $\sim 16:00$ 小児がんにおけるチーム医療と多職種連携 河俣あゆみ A=麻丘大学性原学学 小元素原学 温泉技 こどもを支えること 大森絵里子 三面大学医学部用属病院 か見料 チャイルド・ライフ・スペシャリスト 谷口 美佳 三面大学医学部用属病院 小児科 保育士 家族のこころのケア 中西 健一 三重大学医学部用属病院 医療療社支援センター 国际心理士 相談支援事業と多職種連携 ~求められるもの~ 子どものがん疼痛 ~評価とマネジメント~ 松原 貴子 三重大学表学事用医病院 証明ケアセンター 医師 事例検討 2億円 総合討論 15:00 16:00 閉会の辞 会場 ■ TKP 金沢駅前カンファレンスセンター





【参加者】2016年:6施設44名、2017年:7施設65名





まとめと課題

1) 患者の集約化について

拠点病院を中心にブロック内での一定の集約化がなされており、特に脳脊髄腫瘍、 移植症例については進んでいる。しかし、更なる集約には限界があるか。TV会議 システムやインターネット等を利用し、症例検討・研究会を行うことで、ブロック内 での診療機能の向上につなげる必要がある。

2)施設整備状況について

- ・療養体制: 医療者以外で配置されている職種が施設間で異なり、相談支援体制を整備し、ブロック内での各職種のスキルアップを図っていく必要がある。
- ・診療機能: AYA世代及び長期FU外来において施設間格差が目立つ。これらの充実にはブロック内での集約化は困難であり、遠隔間での事例検討・研修会を開催するなど地域連携する工夫が重要である。
- 教育体制:依然小中学校の院内教育体制が整っていない施設もある。特に高校教育の保障に向けた働きかけが重要である。